

- 問1 発展途上国で作られた農作物などを購入する際、フェアトレード（公平貿易）の仕組みを取り入れる主な理由として最も適切なものを、次から選びなさい。（2021年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 途上国の生産者が不当に安く買い叩かれることを防ぎ、生活改善や経済的自立を支援するため。 | 2. 自国の農家を外国産の安い農産物との競争から守るために輸入制限を実施するため。 | 3. 先進国の企業が安い労働力を独占し、大量生産によるコスト削減を達成するため。 | 4. 関税を取り除くことで貿易額を最大化し、地球規模での市場競争を促すため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 滋賀県が2050年までの実現を目指している「ネットゼロ」社会について、その内容を正しく説明したものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 温室効果ガスの排出量を、省エネルギーの徹底によって完全にゼロにすること。 | 2. 温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量を等しくすることで、実質的な排出量をゼロにすること。 | 3. 二酸化炭素を排出する化石燃料の使用を禁止し、すべてのエネルギーを海外からの輸入に頼ること。 | 4. 工業製品の製造過程で発生する有害物質の排出を、自然界の浄化作用だけで完全に消滅させること。 |
|---|---|--|--|
- 問3 1997年に採択された京都議定書において定められた、地球温暖化を防止するための国際的なルールの特徴として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 二酸化炭素の排出を全面的に禁止し、世界全体で化石燃料の使用を停止することを決定した。 | 2. 経済成長を優先させるため、発展途上国に対してのみ温室効果ガスの削減目標を義務付けた。 | 3. これまでの排出責任を考慮し、先進国に対してのみ温室効果ガスの削減目標を義務付けた。 | 4. 先進国と発展途上国の区別なく、すべての国に対して一律の数値目標を義務付けた。 |
|---|---|--|---|
- 問4 地球温暖化の進行や資源の枯渇といった課題に対応するため、国際社会で共有されている、現在の世代が自らのニーズを満たしつつ、将来の世代が幸福を享受できる能力を損なわないように配慮した社会のあり方を何といいますか。（2018年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 持続可能な社会 | 2. 高度経済成長社会 | 3. 大量消費主導社会 | 4. 国際協調型福祉社会 |
|------------|-------------|-------------|--------------|
- 問5 地球の表面から放射される熱を吸収し、大気を温める性質を持つ気体は、地球温暖化を引き起こす主要原因とされています。近年、この気体の排出量を抑制することが国際的な課題となっていますが、二酸化炭素などに代表されるこれらの気体の総称を何と呼びますか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 温室効果ガス | 2. 硫酸酸化物 | 3. フロンガス | 4. 窒素酸化物 |
|-----------|----------|----------|----------|
- 問6 フェアトレード（公正な貿易）の取り組みにおいて、途上国の生産者の生活を守るために設定されている価格の特色として、最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 為替相場の変動による損失を補填するために設定される、毎月更新の「変動価格」 | 2. 先進国の消費者が購入しやすいように設定される、国際価格よりも安価な「特別価格」 | 3. 世界貿易機関（WTO）が加盟国に一律で義務付けている、世界共通の「固定価格」 | 4. 生産者の生活を支援するために設定される、国際価格に左右されない「最低価格」 |
|--|--|---|--|
- 問7 日本の空港建設において、内陸部ではなく海上という立地を選択する背景にある「騒音対策」の仕組みとして、適切な説明はどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 海上は風が強いので、航空機のエンジン音を風下へ押し流し、都市部へ音が届かないようにする仕組み。 | 2. 空港を市街地から遠ざけ、飛行経路が住宅地の上空を通らないようにすることで、騒音の被害を物理的に回避する仕組み。 | 3. 滑走路を海面に近づけることで、航空機のエンジン音が海水に吸収され、周囲に音が響かなくなる仕組み。 | 4. 埋め立て地を巨大な防音壁として機能させ、地下に設けた滑走路から航空機を離着陸させる仕組み。 |
|--|--|---|--|
- 問8 国際会議においてクロマグロなどの漁獲枠が決定された際、そのルールを遵守するために漁業の現場で行われている具体的な行動として、適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 資源が減少している魚種の輸出を促進し、国内の在庫をなくす | 2. 漁獲量を制限する代わりに、他国から無制限に魚を輸入する | 3. 漁獲枠を守るため、その年に獲った魚をすべて廃棄処分する | 4. 網に多くかかった魚を、決められた漁獲枠を超えないように海へ逃がす |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 経済のグローバル化が進むなか、発展途上国で生産された農産物や製品を、単に安価に取引するのではなく、生産者の生活向上や自立を支援するために、継続的に適正な価格で取引する仕組みを何といいますか。（2023年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|
| 1. 国際フェアトレード認証 | 2. 保護貿易 | 3. 自由貿易 | 4. 地産地消 |
|----------------|---------|---------|---------|
- 問10 南北問題に関連して、近年では発展途上国の中においても、新興工業経済地域（NIES）や石油輸出国機構（OPEC）加盟国のように経済発展を遂げた国と、依然として貧困に苦しむ後発開発途上国との間で経済的な格差が広がっています。このような「発展途上国どうしの間に生じる格差」を指す言葉を選びなさい。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 経済摩擦 | 2. 北北問題 | 3. 南南問題 | 4. 垂直分業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 1997年に日本の京都市で開催された第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3）で採択され、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減目標を先進国に対して義務づけた国際的な協定の名称を次の中から選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------------|------------|
| 1. パリ協定 | 2. 京都議定書 | 3. モントリオール議定書 | 4. ラムサール条約 |
|---------|----------|---------------|------------|
- 問12 大分県姫島村では、ジオパークでの地層観察や渡り蝶であるアサギマダラの観察、地域の七不思議伝説巡りなどを組み合わせた観光プランが実施されています。このように、地域の自然や歴史を活かした体験を通じて環境の保全への意識を高める観光の取り組みを何といいますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------------|---------|------------|
| 1. バリアフリー | 2. グリーンツーリズム | 3. 産業観光 | 4. エコツーリズム |
|-----------|--------------|---------|------------|
- 問13 日本のエネルギー供給において、再生可能エネルギーの導入をさらに進める際に考慮すべき点として、その仕組みや特徴をふまえて正しく説明しているものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 太陽光や風力による発電は、自然条件の影響を受けやすいため、電力不足を防ぐには他の発電方式や蓄電技術との組み合わせが必要である。 | 2. 再生可能エネルギーは二酸化炭素を大量に排出するため、排出権取引の制度を活用してコストを抑える工夫が求められる。 | 3. 風力発電や太陽光発電は、天候が悪くても一定の電力を供給し続けることができるため、ベースロード電源として最適である。 | 4. 再生可能エネルギーによる発電は、火力発電などと比較して、人間の意図した通りに需要に応じた出力調節を行うことが非常に得意である。 |
|--|--|--|--|